
Diary in the future

-SKY-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Diary in the future

【Nコード】

N2952J

【作者名】

- SKY -

【あらすじ】

卒業まであと半年。けど、やり残したことは山ほどあつて。一番の心残りはそう、ずっと片思いしてた人に告白してないこと。このまま何もなく卒業なんて寂しすぎる。……そんなことを考えていた矢先、一冊のノートを手に入れる。それは、書いたことが実現する不思議なノート。しかし、そんなことを知らない広樹は、いつものように日記を書き込む。そして…。

序章 はじまりは一冊のノートから

「恋なんてただの化学反応なのにな。」

いつだったか、友達がそんなことを言ってた。

俺はあいつほど理系の知識があるわけじゃないから、詳しくはわからないけど。

きつと色々な神経だとかホルモンだとかが関係し合って、「すき」って想いは生まれるんだろう。

そのときは、その言葉に妙に納得したけど。

俺は根が文系なんだろうか。

恋はやっぱり、恋だと思った。

そんなことをぼんやり思い出しながら、赤く点灯したままの信号を見つめる。

一年以上も前にあいつが言ってた言葉を思い出すなんて。

卒論で疲れて頭がおかしくなってるからなのか。

信号待ちしてる間に、彼女と一緒に仲良く帰る友達の姿を見かけたからなのか。

それとも…。

あと半年で大学生活も終わるのに、好きな人に告白のひとつもできずにいるからなのか。

そんなことを考えてると、周りの景色が急に滲んで見えた。

駄目だな、本当に疲れてるらしい。

こういうときは、いつも以上に独り身が堪える。

周りの人に気づかれないよう、そつと目頭を押さえると、ようやく信号が青に変わった。

…そういえば、本屋に寄らないといけないんだったな。

いつも曲がる横断歩道の先の角をまっすぐに進んで、本屋に向かった。

目当ての本を買った後、そのまま文房具売場をのぞいてみる。

余談だが、俺は文房具にはこだわる方で。

シャーペンもノートもファイルも、自分で見て回って気に入ったものでないと使う気になれない。

だから学校の売店で売ってるような野暮なノートは使えなくて、
いくつかノートを見てみると、ふとあるノートに目が留まった。
表紙になにやら英文が書いてある、何となく洒落しゃれた感じのノート。
中は普通に淡い青色で螺旋が引いてあって、俺の好みにぴったり
だった。

俺は魅入られるようにそれをレジに持って行った。

1ページ
昨日見た夢

アパートに帰って、俺はすぐに袋からノートを出した。

気に入ったのを買ったから、早く使いたくてもしょうがない。

最初のページを開いて、折り目を付けて。

青のペンで二つ書き込んだ。

[illegible]

Diary 2009.10.3

[illegible]

俺はいつも軽く日記みたいなことを書いてて。

といつても、毎日書いてるわけじゃなくて、気が向いたときにだけ。

続けて三日くらい書くときもあるけど、気が向かないときには平気で一ヶ月くらい空ける。

いかにも〇型ですって感じの日記だけど、俺はそれでいいと思う。

良いことがあつたときだけ日記を書いて、後で読み返して何とな
く楽しくなつて。

そんな感じがすきだから。

[illegible]

1
0
.
3
.
S
a
t

久々にNの夢を見た。

高校のときの夢だろうな。

俺が廊下で直哉と話していると、後ろを通りがかった誰かに直哉が話しかけた。

その声にドキッとして振り向くと、そこにはNがいて。

振り向いたとき、Nもチラッとこっちを見た気がして、みよーにドキドキした。

けど、すきだつて気付かれないから、わざと視線そらして。

…ってところで目が覚めて。

夢だつてわかってたらな。

すきだつて気付かれないとか、ウザイって思われたくないとか。

そんなこと関係なく、もっとよく見れたのに。

なんか今、むしょーにNに会いたい。

あともう少しで大学生活も終わるからかな。

4年になって授業もないから、なかなか学校で会わないし。

最後に会ったのっていつだったかな。

5月くらいだった気がする。

高校のときにすきだつて言えなくて、あきらめかけて。

だけど大学が一緒になって、4年間の間にはって思ってたのに。

同じ大学でも、これだけ会わないんじゃないかな…。

最近、俺が図書館で卒論してるのは、そっちのが集中できるってのもあるけど。

一番の理由は、Nに会いたからなのに。

研究室にこもって勉強しているよりは、会える確率あがる気がするから。

[illegible]

すきな人の名前をイニシャルで書くのは、何ていうかずっと前からの癖で。

苗字に「さん」付けはよそよそしいし、かといって下の名前で呼べるほどの関係でもないし。

イニシャルがN・Nのあの人だから、「N」って書くのが一番かなど。

いつか、「N」なんて書き方じゃなくていい日があるよう願いながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2952j/>

Diary in the future

2010年10月28日08時35分発行